

報道関係各位

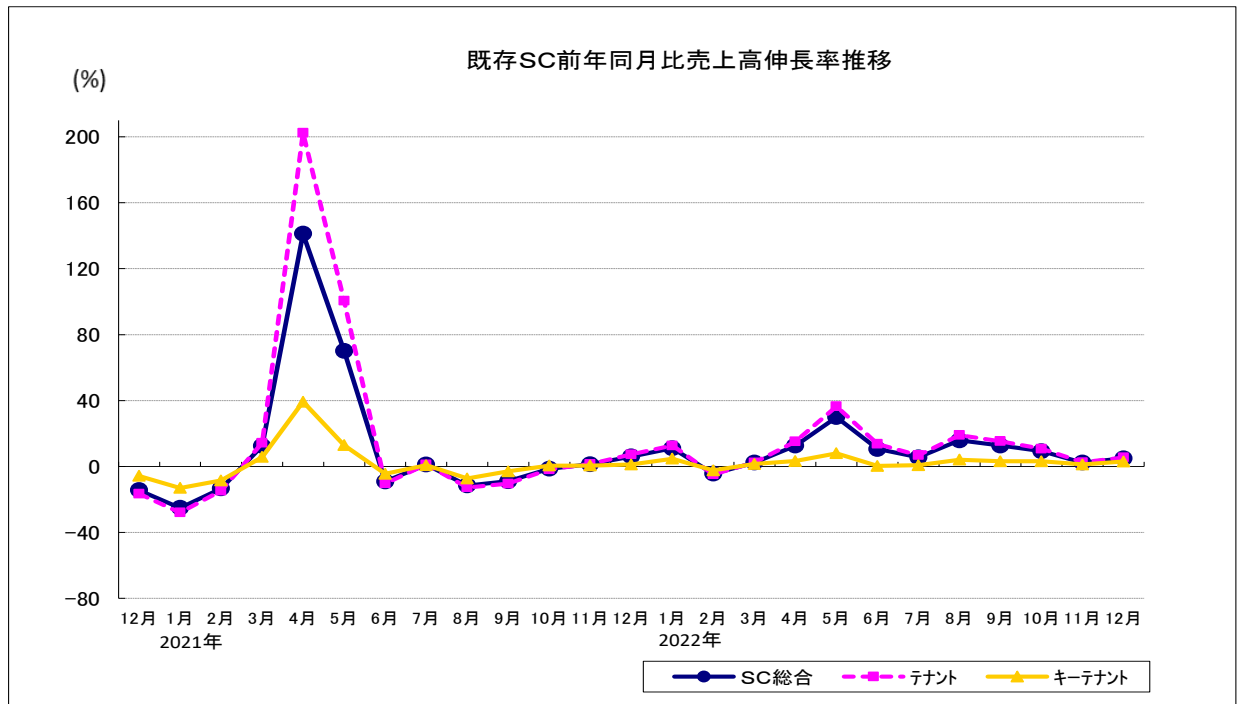
SC販売統計調査報告2022年12月

既存SC前年同月比売上高伸長率 : +4.9% (参考:2019年同月比 : ▲5.0%)

3年振りの行動制限のないクリスマス、年末年始で前年実績を上回る

< 2022年12月度・全体概況 >

- 12月度の既存SC売上高の前年同月比伸長率は、総合で+4.9%となった。
- 3年振りに行政による行動制限がないクリスマス、年末となり外出需要が高まったことや、前月に引き続き全国旅行支援で県外からの観光客が増えたことで来館者数が増え、前年超えとなった。大都市や観光立地を中心にインバウンドも増加しており、来館者数・売上増加に寄与した。2019年と比較すると▲5.0%となりコロナ禍前を下回っているが、前月に引き続きマイナス幅は縮小し、回復基調が続いている。
- 立地別に見ると、中心地域は総合で+8.4%、周辺地域は+3.4%となり、中心地域がより伸長した。引き続き外出需要が高く、季節イベントなどもあり、特に中心地域の大都市が好調であった。
- 業種別に見ると、クリスマスや忘年会などのイベント需要、帰省や旅行などによる来館者数の増加で、飲食が好調だった。また、前月に比べて気温が低下したことにより、アウターなどの重衣料が高稼働した。
- 年末年始の動向としては、3年振りに行動制限がなかったことで、レジ客数・売上高ともに前年より増加したSCが多かった。また、レジ客は伸び悩んでいるが売上高は増加しているというSCもみられ、客単価が増加傾向にあると考えられる。福袋については、オンライン販売や事前予約などが多くなっており、年始の客足が減少傾向にあるとの声が聞かれた。



以上

この件に関するお問い合わせは 情報・リレーション部: 菰田・木口
TEL: 03-5615-8524

※お手数料をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りいたしますようお願い申し上げます。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。